

JA 営農情報

№345 令和6年 6月号

畑の梅雨対策

地域によっては極早生品種の田植えや果菜類の定植を終えてひと段落着くころですが、梅雨入り前にあらかじめ対策をしておくことをおすすめします。



●排水対策

長雨によって畑に水が溜まると、葉や茎が水に浸かってしまい病気に感染するリスクが高くなります。また、畝間に水溜まりができると土中が酸欠状態となり根腐れを起こすこともあるため、水はけの悪い圃場は特に注意が必要です。

定植時に高うねにすることを意識しつつ、排水路を確保して水が抜けやすくなるようにしてください。

●疫病の防除

梅雨時期に発生しやすい病害に疫病があります。疫病は、下葉から泥水を吸い上げたような暗褐色の病斑が現れ、発症後は急速に進行して斑点が大きくなり、やがて株全体が枯死してしまう病気で、感染力が非常に強く爆発的に畑全体へ被害が広がる恐れがあります。

発生してからの防除は困難なので、黒マルチや敷きわら等で葉や茎への泥の跳ね返りを防いだり、登録のある農薬を予防的に散布したりして防除してください。（農薬は雨上がり後の散布が効果的です）



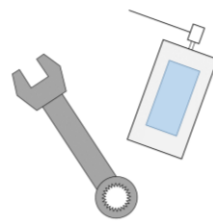
トマト 疫病

※農薬散布時の注意点

農薬を散布した直後に雨が降ってしまうと、かけた農薬が洗い流されてしまい十分に効果が発揮されません。また、この場合でも農薬の使用回数は1回分としてカウントされてしまうため、注意が必要です。天気が崩れやすい時期なので難しいですが、都度天気予報を確認しながら雨がしばらく降らないタイミングや降雨後を狙って散布しましょう。

農薬の使用時期・使用方法等ご不明点があれば営農経済センターまでお問合せください

農機具の点検・清掃



これから代かきや田植えを予定されている方は、当日作業をスムーズに進められるように、前もって機械が正常に動くか点検しておきましょう。

作業終了後は、機械についた泥をしっかりと洗い流し、施肥機や除草剤散布機がある農機具は、機械の中に肥料・農薬を残したままにせず全て取り出して保管してください。

JA茨木市乾燥粃摺り施設利用案内

今年度も下記のとおり乾燥粃摺り施設の予約申込みを受付します。
ご利用の際は事前予約が必須ですので、確認の上お申込みください。

- 申込資格 … JA茨木市の組合員
- 荷受対象品種 … キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
※上記以外の品種は荷受けできません。
- 申込方法 … ・7月1日のみ 専用電話にて受付
(080-9592-6492・080-9592-6493)
・7月2日以降 営農経済センター電話または店頭窓口にて受付



詳しくは『令和6年度 JA茨木市乾燥粃摺り施設利用案内』をご覧ください。

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔月第2木曜日	税 務 相 談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介 護 相 談 随 時 受 付
6月	—	28日	15日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽に お問い合わせ下さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
7月	11日	—	20日	
8月	—	23日	17日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） ふれあい・福祉課 TEL：627-7768			【実施場所】 JA茨木市 各支店	



ご利用ください

- 【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL: 641-9150
- 【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL: 641-9050